

なぜ外国人は病院に行きたくないのですか

「ドクターとの意思の疎通が難しいので行きづらい」



「外国人お茶会」報告



司会の
安銀柱(アンウンジュ)さん

医者	「痛いですか？」
ネパール人	「はい」
医者	「少し痛いですか？」
ネパール人	「はい」
医者	「すごく痛いですか？」
ネパール人	「はい」
医者	「痛くないですか？」
ネパール人	「はい」

この笑うに笑えない話は、あるネパール人が病院へ行った時の実話です。日本語がまったく分からなかった彼は、医者への質問に「はい」としか言えなかったのです。日本語が分からない外国人なら、一度はこのような経験をしたことがあるでしょう。

体調が悪い時は、病院へ行けば安心出来ます。ところが、「病気」より「病

院へ行く事」に不安を感じる外国人が沢山います。

私は10月、「町のひろばと順天堂大学との協働プログラム」の会議に参加させていただきました。

いろいろな理由で病院へ行けず、我慢し続けて大病にまで至る外国人が多いことを、改善するためのプログラムです。日本に住む外国人として、FICECのスタッフとしてもとても有難い事で、FICECからも何か役に立ちたいと思いました。

この会議を受けてFICECでは11月、センター2階にて「なぜ外国人は病院へ行きたくないのですか」、というテーマについて「お茶会」を開きました。お茶会には、台湾(5名)、中国(3名)、韓国(3名)、タイ(2名)、日本(4名)が参加して、お茶とケーキを囲んで行われました。

普段は日本語に自信があったのに、子どもの事故で慌ててしまって、簡単な日本語すら出てこなかった失敗談や、薬だけで治る消化不良なのに、言葉が通じない不安で内視鏡検査までしてもらった話などの体験談が、沢山出ました。総合病院だけでも手軽に利用できる通訳システムの設置の重要性と必要性を痛感しました。

通訳システムは言葉の通じない患者の診察に当たる病院側の不安も同時に減らしてくれるはずです。そして、日本の病院システムに頼るばかりではなく、いざという時に救急車を呼べるくらいの日本語の能力も重要です。

国民医療保険に入る、毎年健康診断を受ける、そして、日本語の勉強をする事は、他

国である日本で、自分と家族の健康を守るために、とても大事なことです。

今回のお茶会の結果が、先生方の研究に少しでも役に立ち、外国人が病院を不安に思うことなく、安心して暮らせる日が早く来てほしい、と願ってやみません。

文・安 銀柱(アン・ウンジュ)

●小・中学校入学説明会が始まります。開催日を確認！

この春に小学校に入る児童・生徒の保護者を対象にした説明会が2月に始まります。小学校に入るお子さんの就学通知書は、住民票の世帯主宛てに1月中旬に郵送されています。学校によって開催日が違うので間違えないようにしてください。

まだ「就学通知書」が届いていない方は、各市町の学校教育課に連絡してください。

また入学までに他市町に引越す方、国立・私立小学校に入る方、やむを得ない理由で入学させることができない方、就学通知書の氏名に誤りがある方なども学校教育課へ連絡してください。



●大盛況 「FICEC のバザー」



バザーは毎日開催しています。時々FICECに遊びに来て下さい。何か掘り出し物が見つかるかもしれません。

●「公民館活動」

友人作りと日本を知る場所

地域住民の様々な活動を支援する場として、各市町に公民館があります。ここは学習の場、日本文化を知る場、健康を管理する場として、多くの体験ができる所です。あなたも興味のあるサークルをさがして参加してみませんか。次号では、公民館活動の内容を詳しく案内し、地域住民との絆を深める機会を作ってもらいたいと思います。

高校・大学入学費用で心配の方、相談してみませんか

高校、専門学校、大学などの入学には、さまざまな費用がかかります。保護者の方は日本政策金融公庫の教育一般貸付（国の教育ローン）を考えてみてはいかがでしょうか。

この貸付は扶養しているお子さまの人数に応じて、幅広い世帯年収の方に対応します。（世帯年収 200 万円以下の方などには優遇制度もあります）

●申込み [1 年中いつでも受付しています]

[<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>・郵送]

●返済期間 [15 年以内]

●返済方法 [毎月の返済額が一定で、在学期間中は利息のみのお支払が可能です]

■問合わせ 日本政策金融公庫川越支店（申し込み相談）049-246-4271

■問合わせ・資料請求 0570-008656

